

# 委員提出資料

草間委員提出資料	1
----------	---

平成 21 年 3 月 4 日

「看護の質の向上と確保に関する検討会 中間とりまとめ (案)」への意見

大分県立看護科学大学

草間 朋子

3 月 6 日の第 5 回検討会、出席できませんので、書面にて意見を述べさせていただきます。

1. 「1. 看護教育のあり方について 2」保健師・助産師教育」の 1 番目および 2 番目の○の部分について

教育の仕方についての記述の部分の順序ですが、「現状の統合教育がよいという意見」と「統合教育を見直し・・・学部教育修了後の教育とすべきとの意見」は、第 4 回目の検討会までの議論を考慮すると、逆ではないかと思っております。この部分の記述の順番は、今後の看護教育を検討する際に、大変重要となりますので、第 5 回検討会では、出席者の意見を定量的に把握して判断していただくことを希望致します。

2. 「3. チーム医療の推進について」の 5 番目の○について

4 回目までの検討会の議論の中で、NP (ナースプラクティショナー) について何回も話題になりました。そこで、5 番目の文章の後に、以下の文章を追加することを希望します。

「また、チーム医療を実践するために、その職種でなくても行いうる業務を他の職種に担わせるスキルミックスの推進が検討されるとともに、専門性を高めた新しい職種の導入についてもその必要性を含めて検討が進められている。その中で特に看護職員に対しては、患者に最も近い存在であるだけにチーム医療の中核として大きな役割が期待されている。これらの期待に答えていくためには、看護職員のスキルアップが不可欠であり、大学院等による「高度で専門的な教育」を拡大・充実させていく必要がある。」

以上